

播磨臨海地域道路網の早期実現に関する決議

兵庫県南西部に位置する姫路市、加古川市、明石市、高砂市、稲美町、播磨町そして太子町を中心とする播磨臨海地域は、日本を代表する企業の製造拠点や、高度な技術力を蓄積している中堅企業・地場産業など約二千三百社、従業員数約十一万人、製造品出荷額約五兆四千億円を誇る、世界有数のものづくり拠点である。

その技術力の高さは、数多くの世界トップシェアを持つことから明らかであり、加えて、隣接するX線自由電子レーザー施設「SACLA」やスーパーコンピュータ「京」など、世界最先端の知的生産拠点の研究成果から、次々とイノベーションを起こし、新たな付加価値の創造に繋げるなど、我が国が目指す「科学技術立国」「産業投資立国」の実現を力強く牽引できるのが、ここ播磨臨海地域である。

播磨臨海地域道路網は、当地域にダブルネットワークを構築し、平時はもちろん災害時においても、日本のものづくり力の維持・強化とそのバックアップ、広域救急医療への支援や迅速な復旧・復興を支える、地域と日本の未来に必要な道路である。

こうした道路への計画的な投資こそが、産業の国際競争力の強化や地域経済の活性化、地方に暮らす国民の安全安心を確保し、国土の強靱化と経済の再生・成長を支えるものと確信する。

本道路については、国の平成二十五年度予算において、優先区間の絞り込み調査箇所にて採択され、いよいよ、本格的な検討（計画段階評価）の着手を望めるまでになった。今後、これらの検討が速やかに実施され、播磨臨海地域道路網が早期に実現されるよう、我々は次の事項について強く要望する。

- 一、国による計画段階評価を今年度に着手すること
- 一、計画段階評価では、地域経済界や自治体からの声も踏まえ検討すること
- 一、国の平成二十六年度予算においては、日本経済の成長と国土の防災・減災機能強化に資する道路整備の積極的な推進に必要な額を確保すること

右、決議する。

平成二十五年六月十八日

兵庫県

播磨臨海地域道路網協議会

播磨臨海地域道路網建設促進協議会

播磨臨海地域道路網促進期成議員連盟

